



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月9日

上場会社名 オーベクス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3583 URL <https://www.aubex.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗原 則義  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 塚越 孝弘 (TEL) 03-6701-3200  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,333	2.4	154	4.4	177	18.6	161	55.9
2022年3月期第1四半期	1,301	8.1	147	33.7	149	38.7	103	48.7

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 186百万円(74.6%) 2022年3月期第1四半期 106百万円(65.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	58.32	—
2022年3月期第1四半期	37.48	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	9,543	5,528	57.9	1,994.82
2022年3月期	9,441	5,416	57.4	1,957.25

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 5,528百万円 2022年3月期 5,416百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	25.00	25.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,700	△0.2	345	△5.8	335	△7.7	315	25.0	113.83
通期	5,500	0.3	650	△8.0	630	△13.4	520	△3.1	187.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年3月期1Q	3,092,623株	2022年3月期	3,092,623株
2023年3月期1Q	321,426株	2022年3月期	325,226株
2023年3月期1Q	2,768,347株	2022年3月期1Q	2,763,325株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更等)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)におけるわが国経済は、景気の持ち直しの動きがみられたものの、ウクライナ情勢の悪化による資源価格の高騰による物価上昇や急激な円安の進行、更に新型コロナウイルスの新たな変異株の出現などにより、先行きは不透明な状況で推移しました。

このような事業環境の中、当社グループは、基本方針を「新市場(スタンダード市場)において持続的成長と企業価値向上を具現化する」とする第8次中期経営計画(オーベクスビジョン2024)の目標達成に向けてスタートし、既存事業の強化による事業拡大、持続的成長に向けた設備投資、グループ技術を結集した新製品の開発および新分野への展開などの基本戦略の実行に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は1,333百万円(前年同四半期比2.4%増)、営業利益は154百万円(前年同四半期比4.4%増)、経常利益は177百万円(前年同四半期比18.6%増)、特別利益として固定資産売却益55百万円の計上がありました結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は161百万円(前年同四半期比55.9%増)となりました。

営業利益率は11.6%となり、前年同四半期比で0.2ポイント増加しました。経常利益率は13.3%となり、前年同四半期比で1.8ポイント増加しました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

#### (テクノ製品事業)

テクノ製品事業は、中国のゼロコロナ政策による経済活動の停滞や物流費の高騰および原材料価格の値上げなどのマイナス要素があったものの、売上は堅調に推移しました。その結果、売上高は980百万円(前年同四半期比0.8%増)、セグメント利益は205百万円(前年同四半期比8.2%増)となりました。

セグメント利益率は20.9%となり、前年同四半期比で1.4ポイント増加しました。

#### (メディカル製品事業)

メディカル製品事業は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響による手術数の減少などの影響が継続する中、プロモーション活動および販売拡大に注力しました。その結果、売上高は351百万円(前年同四半期比7.3%増)、セグメント利益は25百万円(前年同四半期比30.2%減)となりました。

セグメント利益率は7.2%となり、前年同四半期比で3.8ポイント減少しました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ102百万円増加し、9,543百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金134百万円の減少があるものの、現金及び預金135百万円、仕掛品83百万円などが増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ8百万円減少し、4,015百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金103百万円の増加があるものの、未払法人税等156百万円などが減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ111百万円増加し、5,528百万円となりました。これは主に、土地再評価差額金85百万円などが増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2022年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,499,229	2,634,536
受取手形及び売掛金	1,316,033	1,181,353
商品及び製品	174,191	183,251
仕掛品	1,276,414	1,359,612
原材料及び貯蔵品	429,102	460,249
その他	161,602	207,676
貸倒引当金	△1,842	△1,645
流動資産合計	5,854,730	6,025,034
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,038,597	3,033,386
減価償却累計額	△1,899,916	△1,911,721
建物及び構築物 (純額)	1,138,680	1,121,664
機械装置及び運搬具	3,161,918	3,193,333
減価償却累計額	△2,712,890	△2,751,675
機械装置及び運搬具 (純額)	449,028	441,658
土地	1,509,554	1,487,401
リース資産	241,262	233,756
減価償却累計額	△160,417	△161,288
リース資産 (純額)	80,845	72,467
建設仮勘定	12,771	39,941
その他	543,953	546,793
減価償却累計額	△458,548	△468,677
その他 (純額)	85,405	78,115
有形固定資産合計	3,276,286	3,241,248
無形固定資産		
特許権	2,694	2,457
リース資産	3,668	2,772
その他	21,818	22,192
無形固定資産合計	28,181	27,422
投資その他の資産		
投資有価証券	88,971	94,378
出資金	130	130
繰延税金資産	111,791	81,512
再評価に係る繰延税金資産	6,262	-
その他	80,845	80,082
貸倒引当金	△5,994	△5,996
投資その他の資産合計	282,007	250,107
固定資産合計	3,586,475	3,518,778
資産合計	9,441,206	9,543,813

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	479,282	582,712
1年内返済予定の長期借入金	1,114,606	1,112,216
リース債務	31,997	26,083
未払法人税等	165,697	9,099
賞与引当金	150,567	70,788
その他	372,062	480,864
流動負債合計	2,314,213	2,281,764
固定負債		
長期借入金	1,145,700	1,145,596
リース債務	40,026	35,216
再評価に係る繰延税金負債	-	31,616
株式給付引当金	134,045	134,554
退職給付に係る負債	390,230	386,514
その他	515	515
固定負債合計	1,710,516	1,734,012
負債合計	4,024,729	4,015,776
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,939,834	1,939,834
資本剰余金	518,489	518,489
利益剰余金	3,109,540	3,108,169
自己株式	△212,795	△210,618
株主資本合計	5,355,068	5,355,875
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,651	39,178
土地再評価差額金	△39,249	46,577
為替換算調整勘定	65,005	86,404
その他の包括利益累計額合計	61,407	172,161
純資産合計	5,416,476	5,528,036
負債純資産合計	9,441,206	9,543,813

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	1,301,975	1,333,010
売上原価	858,853	859,317
売上総利益	443,121	473,693
販売費及び一般管理費	295,126	319,249
営業利益	147,994	154,444
営業外収益		
受取利息	110	150
受取配当金	1,007	1,668
為替差益	3,244	24,967
その他	1,190	1,250
営業外収益合計	5,553	28,036
営業外費用		
支払利息	3,771	3,304
その他	54	1,554
営業外費用合計	3,825	4,858
経常利益	149,722	177,622
特別利益		
固定資産売却益	-	55,871
特別利益合計	-	55,871
特別損失		
固定資産除却損	6	42
固定資産売却損	-	2,826
特別損失合計	6	2,869
税金等調整前四半期純利益	149,715	230,624
法人税、住民税及び事業税	32,957	2,566
法人税等調整額	13,179	66,601
法人税等合計	46,137	69,168
四半期純利益	103,578	161,456
親会社株主に帰属する四半期純利益	103,578	161,456

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	103,578	161,456
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	366	3,527
為替換算調整勘定	2,781	21,399
その他の包括利益合計	3,147	24,926
四半期包括利益	106,726	186,382
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	106,726	186,382



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い)

当社及び国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルスの感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	テクノ 製品事業	メディカル 製品事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	973,205	327,947	1,301,153	822	1,301,975
外部顧客への売上高	973,205	327,947	1,301,153	822	1,301,975
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	891	891	—	891
計	973,205	328,838	1,302,044	822	1,302,866
セグメント利益又は損失(△)	189,567	36,087	225,654	△5,411	220,242

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	225,654
「その他」の区分の損失(△)	△5,411
全社費用(注)	△72,247
四半期連結損益計算書の営業利益	147,994

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	テクノ 製品事業	メディカル 製品事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	980,937	351,851	1,332,789	221	1,333,010
外部顧客への売上高	980,937	351,851	1,332,789	221	1,333,010
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,099	1,099	6,000	7,099
計	980,937	352,950	1,333,888	6,221	1,340,109
セグメント利益又は損失(△)	205,035	25,190	230,225	△2,896	227,328

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	230,225
「その他」の区分の損失(△)	△2,896
全社費用(注)	△72,884
四半期連結損益計算書の営業利益	154,444

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。